

捨てずにもどす

RETURN

or



植物由来の 環境に優しい素材

町内に工場を構える株式会社アミカテラは、自然環境下で微生物により分解される植物由来の原料を使用した素材 **modo-cell®** を製造しています。

原料は、セルロース（植物繊維）・でんぷん・植物由来の天然樹脂・水。製造の過程で出るセルロース系の残りかすや、農業廃棄物など、ほとんどの植物繊維を原料として使うことができるため、原料枯渇の懸念がありません。自然環境下で微生物による

分解ができるため、分解時にメタンガスが発生せず、可燃ごみとして焼却した場合も、ダイオキシンなどの有害物質が発生しない、環境に優しい素材です。

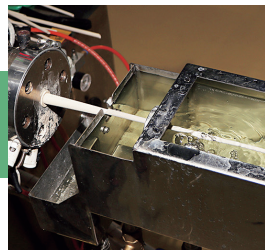
水俣工場で素材を作り 益城工場でストローに

同社は、2021年9月、国内初の研究製造施設を本町で稼働。台湾の工場から輸入した素材で、ストローの製造を始めました。2023年1月には、水俣市に工場を新設。現在は、県内の放置竹林から伐採した竹を水俣工場で粉状にし、でんぷんを混ぜた **modo-cell®** 素材を作り、益城工場でストローを製造しています。そのストローが、町内の全小中学校の児童・生徒と教職員に寄贈されました（関連17ページ）。

県内でSDGsに関する独自の先導的な取り組みを行う事業者や、地域社会に貢献する優れた取り組みを行う個人・団体などを表彰する「くまもとSDGsアワード」の牽引部門で、同社は2022年に入賞、2023年に優秀賞を受賞しています。



均一の長さにカットして、再び乾燥。その日の湿度に合わせて乾燥時間を調整



空気を送り込みながら筒状に成形したものを、水で冷やす



素材を乾燥させ水分を飛ばした後、熱して溶かす。温度管理が大切



水俣工場で竹を粉状にし、でんぷんを混ぜて作られた素材 **modo-cell®**



益城工場で生産されている **modo-cell®** ストロー。(左) ストロー以外の食器なども国内生産が始まっています

Interview

ストローで環境や 循環型社会に貢献

株式会社アミカテラ
営業部長 よしただけおさむ 吉竹修さん



modo-cell® という名前は、主原料が植物繊維（「セル」ロース）で、自然に「モドセル」という特徴が由来になっています。これまで使われていなかった植物資源を有効活用しており、万が一自然の中に紛れても、落ち葉が土に返るように自然に返る素材です。

身近な放置竹林を生かし益城工場で作った **modo-cell®** ストローを使い、SDGsそして循環型社会に貢献していることを感じてもらえれば幸いです。

くまもと益城工場で働く町民の皆さん

